

国際文化研究

Intercultural Studies Etudes Interculturelles
Internationale Kulturforschungen 国際文化研究
Исследование Международной Культуры 국제문화연구

第 16 号

〈論文〉

- 国際文化学、そして文化を考え直す—2011年3月11日以後…………… 平野 健一郎 (3)
- 国際文化学から見た国民形成
—ガンディーを事例として—…………… 長崎 暢子 (11)
- Nishida avec Numa: Le Japon et les démons de la modernité (3/4)
L'invention d'un philosophe
…………… Sylvain CARDONNEL (17)
- A Complex Fit: The Remaking of Japanese Femininity and Fashion, 1945-65.
…………… Michael FURMANOVSKY (43)
- 关于中国人构建良好人际关系的基本方式
…………… 陳利、劉虹 (67)
- 일본 설화의 상상력 고찰…………… 朴 炫国 (75)
- 比叡山坂本の研究 (2)
—地縁組織を中心にして—…………… 須藤 護 (87)
- 〈研究ノート〉
- 海外日本人学校に期待される文化理解力養成についての一考察
…………… 泉 文明 (109)
-

2012

龍谷大学国際文化学会

「国際文化研究」投稿規程

1. 本誌は、研究活動の報告を主目的とする。投稿者は国際文化学部専任教員を原則とする。共著論文の場合、共著者の一名が国際文化学部専任教員でなければならない。その他の投稿希望者については編集委員会において対応する。
2. 投稿論文は査読・審査を受けなければならない。
3. 本誌は年一回の発行とする。
4. 本誌に掲載する論文、研究ノート、書評等は未刊のものに限る。
5. 言語は原則として日本語、英語、フランス語、中国語、韓国語とする。その他の言語については編集委員会において検討する。
6. 日本語の原稿の分量は20,000字以内、英語の場合は10,000語以内とする。(図、表、写真等を含む)。その他の言語については上記に準ずる。
7. 原稿は二部を編集委員会に提出する。ただし、ワープロ原稿の場合はフロッピーを添付すること。
8. 原稿の最初には題名、著者名、職名、所属機関名を明記する。次いで日本語(200字以内)および英語(100語以内)の要旨を付ける。更に日英両言語および執筆言語による題名とキーワードを要旨の後に付ける。本文はその後より始める。
9. 著者による校正は二校までとする。校正段階での大幅な加筆や削除はできない。
10. 掲載論文等については50部の抜刷を提供する。50部を超える場合は、その費用を投稿者が負担する。
11. 投稿者は投稿規程を遵守し、原稿の内容および表現に責任を持たなければならない。
12. 査読制度を設けるものとする。また、掲載の可否については、編集委員会および編集委員会から依頼を受けた査読委員が協議し決定する。
13. 投稿・出版に関するその他の指示は編集委員会より連絡する。
14. 掲載論文等の著作権は執筆者に帰属するが、本学及び国立情報学研究所等が論文等を電子化により公開するものについては、複製権及び公衆送信権の行使を国際文化学会に委託するものとする。ただし、電子化による公開は執筆者の許諾を得たうえで行うものとする。
15. 上記に記載していない事項については、必要に応じて編集委員会において検討する。
16. 本規程は平成14年4月1日より実施する。

付則

1 平成18年11月15日改正

INTERCULTURAL STUDIES

Guidelines for Manuscripts

1. The main purpose of Intercultural Studies is publication of research ; in principle authors shall b full-time teachers in the Faculty of Intercultural Communication.
In the case of joint authorship,one author must be a full-time member of the Faculty of Intercultural Communication. All other cases shall be dealt with by the editorial board.
2. Manuscripts submitted for publication shall be refereed.
3. Intercultural Studies shall be published once a year.
4. Intercultural Studies accepts only unpublished manuscripts, including articles, notes on research in progress, and book reviews.
5. The principal languages for publication are Japanese, English, French, Chinese and Korean. Publication of manuscripts in other languages shall be considered by the editorial board.
6. Manuscripts should not exceed 20,000 characters in Japanese of 10,000 words in English (including figures, charts, maps, and tables). Authors of manuscripts in languages other than Japanese or English Should observe these limits mutatis mutandis.
7. Two hard copies of each paper should be submitted to the editorial board.
Authors using word processing should include a floppy disk.
8. The first page should start with the title, author's or author's name(s), position and institution. Immediately after this should be an abstract in Japanese (not exceeding 200 characters) and one in English (not exceeding 100 words). The title and key words in Japanese, English, and, if the text is written in a third language, in the language of the text should follow the abstracts. The text begins below the keywords.
9. Authors shall receive page proofs twice for corrections. At this stage of proofreading, major additions or deletions in the manuscript are not permitted.
10. 50 reprints will be provided for each article. Extra copies can be ordered at cost.
11. Authors shall observe these guidelines, and be responsible for the content of and word choice in their manuscripts.
12. The editorial board and referees designated by the editorial board will consult and decide whether or not to accept and publish manuscripts.
13. Other guidelines for the submission and publication of manuscripts will be explained by the editorial board as needed.
14. The copyright for articles appearing in the Journal shall be retained by the author. With regard to electronic dissemination of the article by this University, the National Institute of Informatics, etc..., the reprint and public distribution rights shall be handled by the Intercultural Studies Association. However permission to distribute articles electronically will be given only after agreement by the author.
15. As the need arises, other matters not covered in the above guidelines will be considered by the editorial board.
16. These guidelines are effective from April 1, 2002.

龍谷大学国際文化学会会則

制 定 平成8年4月1日

一部改正 平成14年5月15日

一部改正 平成19年2月20日

第1条 本会は、龍谷大学国際文化学会と称し、事務所を龍谷大学内におく。

第2条 本会は、国際文化の確立を目的としたそのための学術の研究促進とその普及を目的とする。

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 研究会の開催
- (2) 講演会の開催
- (3) 機関誌その他の出版
- (4) その他、本会が適当と認める事業

第4条 本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 名誉会員 本会評議員会において名誉会員と認定された者。
- (2) 普通会員
 - ① 龍谷大学国際文化学部の全専任教員。
 - ② 龍谷大学専任教員のうち本会評議員会の承認を得た者。
 - ③ 龍谷大学国際文化学部卒業生のうち会員資格の継続を希望する者。
- (3) 学生会員 龍谷大学国際文化学部及び国際文化学研究科の学籍を有する学生。

(4) 賛助会員 本会の主旨に賛成し、その事業を賛助する者。

会員は、本会の諸事業に参加し、本会の出版物の配布を得ることができる。

第5条 本会には、下記の役員によって構成される学会運営委員会を置く。編集長は、編集委員の互選により決定する。

- | | |
|-------------|-----|
| (1) 会 長 | 1名 |
| (2) 副 会 長 | 1名 |
| (3) 編 集 委 員 | 若干名 |
| (4) 庶 務 委 員 | 1名 |
| (5) 会 計 委 員 | 1名 |
| (6) 会計監査委員 | 1名 |

第6条 役員は任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 会長は、龍谷大学国際文化学部長があたるものとする。会長以外の役員は、普通会員中より

会長がこれを委嘱する。

第7条 役員は次の職務を行う。

- (1) 会長は、本会の業務を総括し、本会を代表する。
- (2) 副会長は会長を補佐する。
- (3) 編集委員は、機関誌の発行等出版に関する事務を処理する。
- (4) 庶務委員は、本会の庶務を処理する。
- (5) 会計委員は、本会の会計を処理する。
- (6) 会計監査委員は、本会の会計監査を行う。

第8条 運営委員会は、会長が主宰し、次の事項を処理する。

- (1) 事業計画に関すること
- (2) 予算・決算に関すること
- (3) 会員の入会・退会に関すること
- (4) その他重要な事項

第9条 本会に、国際文化学部専任教員をもって評議員とする評議員会を置く。

評議員会は、年間活動の策定、予決算の承認、役員を選出、会則の改正、本会の運営に関する基本事項について議決する。

第10条 本会の経費は、会費、事業収入、寄付金、及び龍谷大学からの助成金をもてこれにあてる。会費は、普通会員については、年額5,000円(別に入会金2,000円)、学生会員については年額4,000円(別に入会金2,000円)、賛助会員については、年額5,000円以上(別に入会金2,000円)とする。

第11条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第12条 この会則の更改は、評議員会において出席者の3分の2以上の賛同を要する。

付 則

この会則は、平成8年4月1日から施行する。

付 則 (平成14年5月15日第4条改正)

この会則は、平成14年4月1日から施行する。

付 則 (平成19年2月20日第10条改正)

この会則は、平成19年4月1日から施行する。

執筆者紹介

平野 健一郎	国立公文書館アジア歴史資料センター長
長崎 暢子	龍谷大学・人間・科学・宗教総合センター・研究フェロー
Sylvain CARDONNEL	龍谷大学・国際文化学部・教授
Michael FURMANOVSKY	龍谷大学・国際文化学部・准教授
陳 利	遼寧警官高等専科学校・教授
劉 虹	龍谷大学・国際文化学部・教授
朴 炫 国	龍谷大学・国際文化学部・准教授
須藤 護	龍谷大学・国際文化学部・教授
泉 文明	龍谷大学・国際文化学部・教授

(掲載順)

本誌掲載論文は、投稿規程にあるとおり査読を経たものである。

国際文化研究 第 16 号 2012

2012年3月10日発行

編集・発行 龍谷大学国際文化学会

編集委員 久松英二
Steve WOLFE

〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1-5
TEL 077-543-5111(代表)

印刷 協和印刷株式会社

〒615-0052 京都市右京区西院清水町13
TEL 075-312-4010
